

かけはしがわ



発行 国土交通省金沢河川国道事務所

平成23年度工事が5件完成しました。

周辺にお住まいの皆様のご理解とご協力のおかげで、平成24年3月30日をもって、下記に示す改修工事(①～⑤)が完成しました。周辺にお住まいの皆様へは感謝申し上げます。なお、まだ下記に示す改修工事(⑥～⑨)が継続中ですので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

※平成24年3月30日時点

工事名	工期	請負業者
① 梯川天神耐震対策工事	平成23年7月5日～平成24年3月22日	株式会社 丸西組
② 梯川天神低水護岸工事	平成23年7月21日～平成24年3月25日	あおみ建設株式会社
③ 梯川天神耐震対策その2工事	平成23年7月27日～平成24年3月30日	株式会社 江口組
④ 梯川川辺低水護岸その2工事	平成23年9月6日～平成24年3月30日	株式会社 吉光組
⑤ 梯川茶屋低水護岸外工事	平成23年9月28日～平成24年3月20日	株式会社 江口組
⑥ 梯川川辺町樋管改築工事	平成23年8月12日～平成24年8月予定	中島建設株式会社
⑦ 梯川川辺築堤護岸工事	平成24年1月25日～平成25年3月予定	株式会社 吉光組
⑧ 梯川川辺築堤護岸その2工事	平成24年1月28日～平成24年12月10日予定	加賀建設株式会社
⑨ 梯川天神低水護岸外工事	平成24年3月1日～平成24年8月31日予定	株式会社 小山組



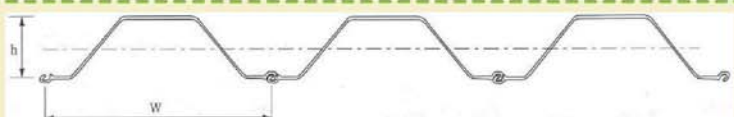
○梯川川辺低水護岸その2工事 3月30日完成

小松市川辺町(小松自動車学校近辺)において、滞筋部分に盛土し鋼矢板(長さ約1.1m)を設置しました。これにより、以前よりも洪水時の河岸侵食に対して強くなり、河川敷が広くなりました。



鋼矢板とは・・・?

凸凹がある鋼板どうしを継手をつないだものです。



■ 今年の積雪状況について

金沢河川国道事務所では、河川の水位計や雨量計の他に梯川上流部（小松市尾小屋町）において積雪計を設置しており、平成15年から現在まで記録しています。下記に示す積雪量のグラフのとおり、今年の1月1日～1月25日の積雪量は50cm程度であり、過去9年間の平均積雪量と同程度でした。その後、1月26日～2月28日の積雪量は110cm程度であり、過去9年間の平均積雪量(60cm)に比べ50cm多かったようです。



◆ 積雪量のグラフ
(尾小屋観測所)

◆ 尾小屋観測所の現地写真
(平成24年2月撮影)

■ 梯川の水質について

梯川では、3地点（石田橋・能美大橋・鴨浦橋）で水質を観測しており、結果としては、これまで環境基準値を満足しております。

平成22年の梯川の水質は、河川の汚れ具合を示すBOD^{*}(平均値)で1.0(mg/L)でした。

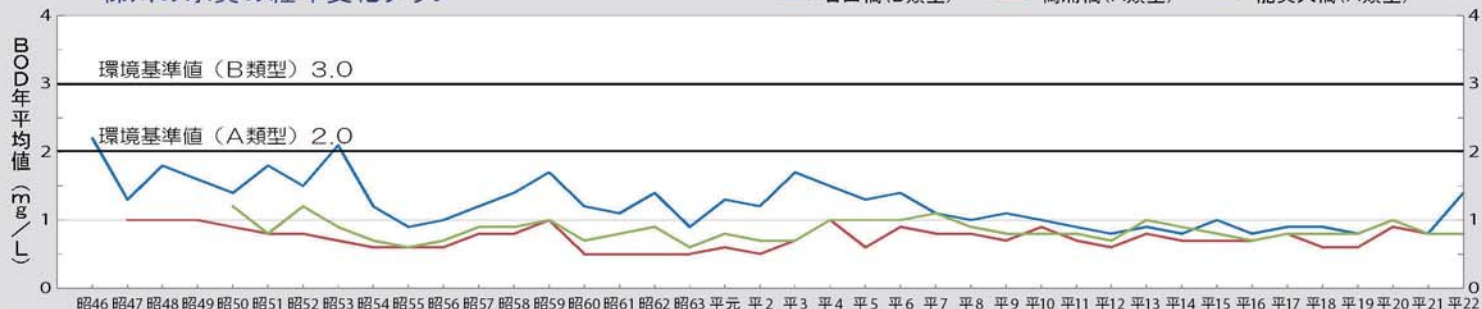
平成22年の北陸一級河川水質

河川名	観測地点の県名	BOD [*] 平均値(mg/L)	平成21年の状況	
			順位	BOD [*] 平均値
姫川	新潟	0.5(0.5)	1 [1]	0.5(0.5)
荒川	新潟	0.5(0.5)	3 [17]	0.6(0.6)
黒部川	富山	0.6(0.5)	1 [1]	0.5(0.5)
魚野川(信濃川の支川)	新潟	0.6(0.6)	7 [58]	0.8(0.8)
庄川	富山	0.6(0.7)	5 [36]	0.7(0.7)
常願寺川	富山	0.7(0.6)	4 [28]	0.6(0.7)
犀川	長野	0.8(0.9)	11 [78]	0.9(0.9)
神通川	富山	0.8(0.9)	7 [58]	0.8(0.8)
手取川	石川	0.9(0.8)	10 [74]	0.8(1.0)
阿賀野川・阿賀川	新潟・福島	0.9(1.1)	5 [36]	0.7(0.7)
梯川	石川	1.0(0.9)	9 [67]	0.8(0.9)
井田川(神通川の支川)	富山	1.0(1.1)	13 [114]	1.1(1.1)
信濃川・千曲川	新潟・長野	1.1(1.1)	14 [125]	1.2(1.3)
関川	新潟	1.1(1.2)	12 [90]	0.9(1.1)
小矢部川	富山	1.2(1.3)	14 [125]	1.2(1.3)

()はBOD^{*}75%値、[]は全国順位

※BOD(生物科学的酸素要求量)とは?
最も広く使われている汚濁の指標で、水中にある有機物を細菌が分解するのに必要な酸素の量をいい、BOD値が高いことはその水中に有機物が多いことを示しています。BOD75%値とは、年観測回数12個のうち水質の良い方から9番目の値をいいます。

梯川の水質の経年変化グラフ



第5回野鳥観察会

平成24年2月19日(日)に、小学生と保護者を対象に、梯川手づくり学習館にて第5回野鳥観察会を開催し、今回は33名が参加しました。講師には鴨池観察会の田尻さんをお招きして、カモの特徴や生態についてクイズをしたり、実物大のマガモを工作するなどして、楽しく説明して頂きました。その後、屋外で双眼鏡を使ってマガモやコガモ等の鳥の観察を行いました。アンケート結果によると、「工作ができたし、色々カモのことが知れたので楽しかった」や「望遠鏡で見るとすごく鳥がよく見えた」等、野鳥観察会が楽しかったという意見が多かったです。

梯川手づくり学習館(小松市小島町ヲ27-2)は平日9時~16時まで開館しています。梯川の環境や歴史等について学習できますので、興味がある方は是非一度お越しになって下さい。



講師による説明の様子



工作の様子



屋外での野鳥観察の様子



カモの群れ

カイツブリ



体全体が黒っぽく、ほほの茶色が特徴的です。

カルガモ



身近なカモです。水を泳ぐのが得意で、くちばしは先が黄色が特徴的です。写真に雌雄の区別が難しいです。

コサギ



シロサギ類の中では最も小型です。くちばしは口中半黒で、足指の黄色が特徴的です。

アオサギ



サギの仲間では最も大型です。胸中は灰色で胸から後活部にかけて黒色の帯が目立ちます。

キジ



写真は雄で、顔が赤く首から腹の緑色が目立ちます。一方、雌は地味な色をしています。

ケリ



眼は赤く、長い黄色い足をしています。「キキキ」「クワッ」と大きな声の鳴きます。

ミサゴ



飛んでいる姿を下から見ると全体的に白っぽく見えます。左の写真は風を食べているところ。また、右の写真は巣に卵を産みつけています。

ミサゴ



オオタカ



白い首と目の周りの黒色がはっきりしており、体の大きさからラズバシです。

チョウゲンボウ



タカ類の中で小さくハトぐらいの大きさです。近年、建売物での営巣が確認されています。

観察ポイント

生態系ピラミッドの頂点に位置するオオタカ、ミサゴ、チョウゲンボウといったタカ類も稀に訪れることがあります。特に大きな巣を築くミサゴが狩り(ハンティング)をする姿は見ごたえがあります。

川は様々な鳥たちに利用されています。カルガモやカイツブリは水辺で巣をつくり子育てをする繁殖の場所として利用しており、水中の魚や水辺に生息するカエルを餌とするアオサギやコサギ、水際から陸上に生息する昆虫を餌とするケリ、幹物の種や実を餌とするキジは、餌場として利用しています。

写真提供: 矢野新平(財)日本野鳥の会石川支部会員

一年を通して見られる主な鳥類

バン



全身は黒く顔の赤色が目立ちます。首を前後にふくく泳ぐ姿が見られます。左の写真は水をめぐる雄の雄の叫びであり、右の写真は巣内での雌雄成鳥です。

バン



チュウサギ



シロサギ類の中では体の大きさが中型です。アオサギやダイサギに比べてくちばしは短くくちばしは黄褐色をしています。

アマサギ



春から夏の繁殖期には、与鳥のように尻から首にかけて茶色になります。

サギ類を見分ける目安



観察ポイント

チュウサギは魚やエビ、カニなどを食べ、アマサギはカエルや昆虫類を食べに訪れます。

オオヨシキリはヨシ原に、バンは水辺の草やヨシに、ササゴイは低木に巣をつくり、子育てをします。

写真提供: 矢野新平(財)日本野鳥の会石川支部会員

春から夏に見られる主な鳥類

梯川河川愛護モニター活動紹介

河川愛護モニターの石田さんと細川さんに、梯川について感じたことを報告して頂きました。ほんの一部ですがご紹介します。

■ 1月の活動報告

河川敷ゴミ処理作業 1月6日(金) 12時30分～13時 小松出張所～石田橋 左岸 1.0k～2.1k 地点
タバコ吸い殻・空箱・空き缶・ナイロン袋・菓子プラスチック袋・発泡スチロール細くず・ナイロン紐・ペットボトル・ストロー・ドリンク瓶・肥料袋・プラスチック包み・弁当パック・ゴルフボールほか大袋一杯

■ 報告内容に対する意見、感想等

1月6日(金) 少しの雨の切れ間に作業をすることができました。城南橋左岸下にジャージと石田橋左岸上流親水空間部にホイール付タイヤ1本あり、回収できませんでした。また、この階段部分の岸辺は堆積物が多く清掃が必要だと思いました。芝生部分にあった腐食しなくて危険な瓶のかけらも片付けました。



平成23年度
梯川河川愛護モニター
いしだ ひろ希
石田 広行さん



平成23年度
梯川河川愛護モニター
ほそかわ まさひろ
細川 政和さん

■ 1月の活動報告

1月15日(日) 曇り、10時頃梯川右岸を舟場橋から分岐点を通り、小野町橋を渡り古府神社あたりまで見てきました。

- ①鍋谷川分岐点に維持管理作業の全面交通止の標識が出ていました。
- ②古府神社あたり8.8kの川原に碎石の山がありました。バリケードと標識がありました。
- ③いつものように舟場橋もとに、空き缶2個、菓子袋4個、ペットボトル2個が落ちていました。拾って帰りました。

■ 報告内容に対する意見、感想等

今日は昨日までの雪が嘘のように消え、所々にちぎった白い綿が残っている景色でした。風が冷たく強い日で、まるで冬が通り過ぎた感じのする早春の様な日でした。質問ですが、古府町8.2kの堤防の法面に白・赤・青・黄・数字が貼り付けてあります。この標識、計測機材について教えてください。また、使い方があればそれをお願いします。

【コメント】

細川さんの活動報告①②についてですが、国土交通省で右岸9.0k付近で護岸補修工事を行っており、その工事に伴う資材や仮設物が置いてありました。現在は工事が終わり、撤去しています。

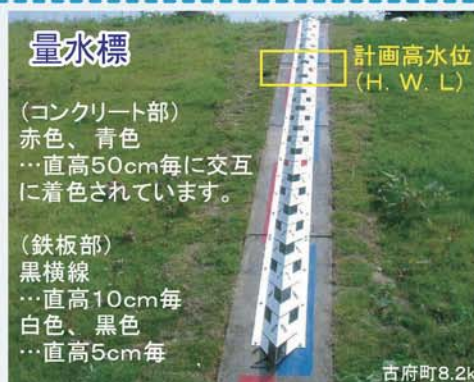
細川さんの質問について、古府町8.2kの堤防法面に設置されているものは「量水標」といいます。洪水時にどのくらいの水位になっているかを確認するためのものです。黄色のラインが「計画高水位(H.W.L.)^{※1}」を示しており、そこから何m下に現在の水位があるかを分かりやすくするため、色分けされています。量水標は、国交省の監視カメラ(CCTV)からも確認できるようになっており、出水時などに活用されます。

※1 計画高水位(H.W.L.)

…計画高水流量^{※2}が河川改修後の河川断面(計画断面)を流れるときの水位。

※2 計画高水流量

…100年に一度の確率で発生する降雨における洪水の流量を洪水調節施設(ダム、遊水池など)で調節した後の流量。



量水標

(コンクリート部)
赤色、青色
…直高50cm毎に交互に着色されています。

(鉄板部)
黒横線
…直高10cm毎
白色、黒色
…直高5cm毎

計画高水位
(H.W.L.)

古府町8.2k

梯川安全利用点検を行います。

今年もゴールデンウィーク前の4月と、夏休み前の6月下旬～7月上旬に梯川において、国、市、施設管理者、学校のPTAの方が安全利用点検を行う予定です。これまでの点検により、河川を利用する際に危険だと判断される箇所には、注意喚起のために看板を設置するなど必要な対策を講じることにしています。皆さんが河川を利用する際には、安全に心がけて頂くとともに、自己責任をお願い致します。



昨年夏休み前の点検状況
(御茶用水頭首工)



設置前

看板設置



設置後

看板設置の様子(小松市園町) ※● 地点に上の看板を設置

お問い合わせ先

国土交通省金沢河川国道事務所調査第一課 TEL076-264-8800(代表)

小松出張所 TEL0761-23-4000

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

広報「かけはしがわ」は、ホームページでもご覧になれます。



国土交通省 北陸地方整備局

金沢 河川 国道 事務所